

J H F 理事会議事録

日 時： 2011 年 1 月 20 日(木) 13:30～17:00

場 所： J H F 事務局会議室（豊島区巢鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 市川 孝 議事録署名人： 内田 孝也 大沢 豊

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 荒井健雄 内田孝也 市川 孝 大沢 豊

菊池守男 安田英二郎

【監事】 對馬和也

欠席（理事） 工藤修二 城 涼一 山口淳一

（出席理事 6 名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 理事・監事のひとこと

大沢常任理事：茨城県連でデジタル無線機を買って使い始めました。充電式のタイプを使えば 1 日使っても大丈夫で、静かで利用価値があると思います。設定等、上手く使えるように研究中です。

内田会長：1 月 17 日に航空協会で横戸室長から SLJ の話と、航空スポーツ連絡会について意見を聞かれました。その日は内閣府の公益認定等委員会へ泉委員長、市川理事と 12 月申請の審査に入るための指導を受けて来ました。18 日は教員スクール事業委員会でした。

菊池副会長：公益認定等委員会から預貯金が多かったので凍結するように指示があったようですが、預貯金の使い道について審議に出しています。

市川理事：公益認定等委員会に行き説明を受けて来ました。審議事項に入れていただきますのでよろしくをお願いします。

4. 審議事項

審議事項 4-1 事業活動費の改善について

菊池副会長：毎年余剰金が増えていく可能性があります。3 月迄に事業費に振り分け、来年度以降も同じような事業規模で運営していけるように、来年度予算書にも同じような状態で構えていきたいという提案です。他にも節約しているところは世間並みに手当てを出し、理事もここ 5 年間は交通費だけでボランティアでした。将来の為に日当支払を提案します。委員日当についても 4 月まで遡って支払った方がいいと思います。

内田会長：事業活動費の審議の前に、預金について説明します。公益認定移行申請で、2010 年予算案を新法人会計に修正した中で、特定資産として積んでいる積立金があり、その年度の会計上の引当金に相当としていました。それは貸借対照表で負債となり遊休財産から控除されるつもりでしたが、公益認定における負債引当金と認められないということになりました。その為、資金 1,800 万円を特定の基金として取崩し不可とすることにより 4 月 1 日登記を目指した公

益移行申請を進めていきたいと考えていますので、それを配慮しご検討ください。

菊池副会長提案の下記項目を審議、議決しました。

1. 委員会活動費の増額について

本日より、JHF 委員会の日当は規則にある本来の金額に戻す（4,000 円→5,000 円）

採決の結果、【賛成 5 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、内田、菊池、安田

2. 理事会活動費の支給

理事の活動費を委員会日当と同じく 5,000 円に戻す

採決の結果、【賛成 4 反対 0 棄権 1】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、安田

棄権： 内田

3. 事務局職員に年末一時金の支給について

内田会長：時給はこれから先も急に上げることも考えていない予算付けです。一時金を出すとしても今回のみ一律 10 万円支給としたいと思います。

荒井理事：1 週間に 1.5 日の人もいるし、勤務時間が違うのでそれぞれ変えるべきです。

安田常任理事：払うのであれば一律では不公平なので、給与金額、在職期間、勤務時間も踏まえて計算するべきです。

荒井理事：会長、副会長に一任しましょう。

内田会長：この場で決め議事録に残さないと随意金の支払いとなるので、決められないなら止めましょう。では、平均月収×何ヶ月で計算しましょう。

安田常任理事：それでは勤務年数が反映されません。

荒井理事：一時金なので給料の 2 ヶ月を支払うことでいかがですか。

菊池副会長：では、1.5 ヶ月で決を採りましょう。

採決の結果、【賛成 5 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、内田、大沢、菊池、安田

4. 事故防止活動に積極的に支援・補助金支給

5. 県連開催の安全・普及活動に補助金支給

どんなことをすればどんな補助金が出るか制度を作り全正会員に周知し、請求に対して出せるように制度化の検討を始める。

採決の結果、【賛成 5 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、内田、菊池、安田

6. 委員会日当・理事会日当の支給を今年度 4 月に遡る

過去に遡り伝票チェック、差額支払、口座への振込等の事務処理も考慮し不採用とする。

審議事項 4-2 日本航空協会・航空関係者表彰の候補者推薦について

財団法人日本航空協会が、航空に関する文化、科学技術、事業、スポーツなどの発展に寄与された方、グループに対し、毎年 9 月「空の日」に表彰を行っています。菊池副会長から、1995 年より国内各所（現在 68 箇所）のフライトエリアスカイ情報を無料公表し、スカイスポーツの日常的な飛行活動に貢献している「アース・ウェザー」社を JHF から推薦することで提案があり議決しました。

採決の結果、【賛成 5 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、内田、菊池、安田

審議事項 4-3 公益認定申請に伴う規則の文言修正について

市川理事より、内閣府・公益認定等委員会からの指導による下記文言の訂正、規程制定の説明があり、審議、議決しました。

- ・定款文字訂正 12条2項 理事会 → 理事
- ・役員報酬規約の訂正
第5条 役員報酬の決定基準で、監事は法律上報酬を決められない条文があるため、2項に「(監事は除く)」を加える。別表、非常勤役員報酬で、監事については固定金額で「(監事は5,000円を支給)」を加える。
- ・特定資産運用規程の新規制定
審議4-1で説明した、1,800万円を特定の預金として預けることについて規程にします。理事会で議決し、正会員へは来年度総会決算の時に説明、報告をします。
→ 文章の訂正等を審議、規程名は「公益目的事業基金規程」とした。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、内田、菊池、安田

審議事項 4-4 2011年度パラグライディング日本選手権開催地承認について

PG競技委員会よりパラグライディング日本選手権の開催地の提出があり、2011年度は6月9日～12日に、新潟県魚沼市鳴倉エリアにて開催することを承認した。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、内田、菊池、安田

審議事項 4-5 2011年度PGアキュラシーリーグ・ルール改定について

PG競技委員会よりPGアキュラシーリーグ・ルールの一部改定の提出があり承認した。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、内田、菊池、安田

審議事項 4-6 委員の選任について

10月19日理事会にて、愛好者の増加促進対策の企画立案を目的とする「ハングパラ振興委員会」(定数5名)を設置することが決定し募集。下記3名の方を承認しました。

芦川 雄一郎(委員長)、橋本 みさ紀、堀江 譲

パラグライダー競技委員会の補充で3名の方から応募があり承認しました。

岩谷 勝弘、上山 太郎、成山 基義

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、内田、菊池、安田

5. 協議事項

5-1 安田常任理事からの提案について

安田常任理事より、JHFホームページの全面更新についてと、空中接触を含めた事故防止対策について提案があり協議しました。

ホームページ更新については、一般向けも含めトップページを作り変える等アイデアをハングパラ振興委員会と検討し、見積りを取り進める。

事故防止対策については、空中接触が一番大きな保険金支払い事故であり、会費値上げに繋が

ることにより、それも含めてアクシデント、インシデント集を作り印刷物として作ることを検討をする。

5-2 その他

岐阜県連、熊本県連からの質問書について協議した。

6. 報告事項

下記それぞれ別紙のとおり報告された。

- 6.1 都道府県連盟総会日程について
- 6.2 CIVL 総会次第
- 6.3 教員スクール事業委員会議事録
- 6.4 「鳥人間コンテスト選手権大会」協賛のお願い
- 6.5 予算収入：進捗管理表
- 6.6 現金・預金・郵便振替残高明細
- 6.7 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(市川 孝)

署名人

(内田孝也)

署名人

(大沢 豊)

議事録作成人：桜井加代子